

伊豆の国市決算状況

市議会9月定例会で、伊豆の国市の令和4年度決算が承認されました。昨年度1年間に皆さんの税金や国・県からの補助金などが、市にどのくらい入り、どのように使われたかをお知らせします。

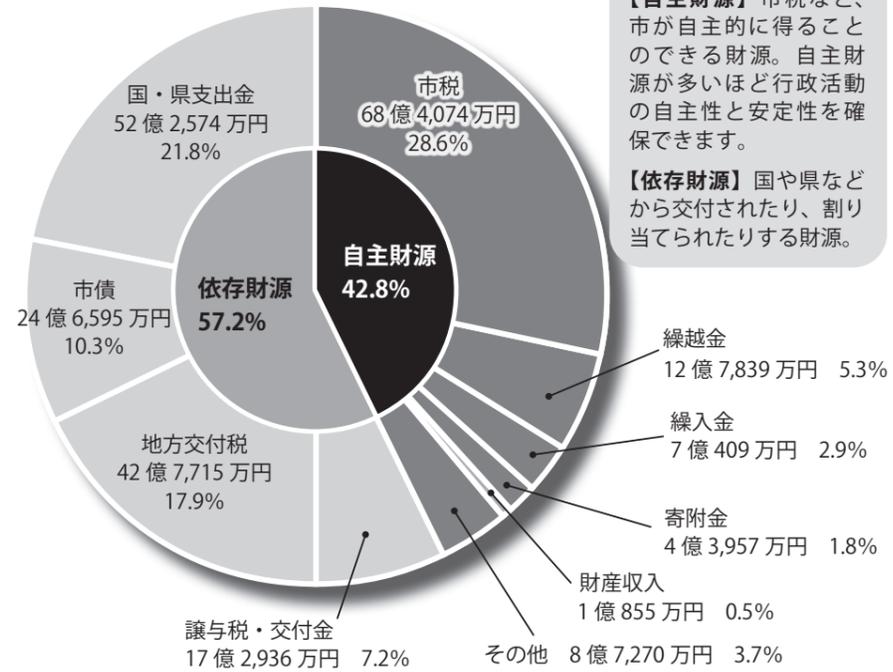
財務課
055(948)1414

※四捨五入しているため、数値は一致していない場合があります。

歳入 239億4,224万円

令和4年度は前年度に比べ、約24億7,275万円の減額となりました。

- ・市税が3億6千万円強の増
- ・前年度に新ごみ処理施設や新し尿処理場の建設など市債を活用した事業が多くあった影響により、「市債」が25億4千万円強の減



【自主財源】 市税など、市が自主的に得ることのできる財源。自主財源が多いほど行政活動の自主性と安定性を確保できます。

【依存財源】 国や県などから交付されたり、割り当てられたりする財源。

項目	金額 (万円)
市民税	28,952,600
固定資産税	33,314,800
軽自動車税	1,655,800
入湯税	7,558,000
市たばこ税	3,728,500
合計	68,407,400

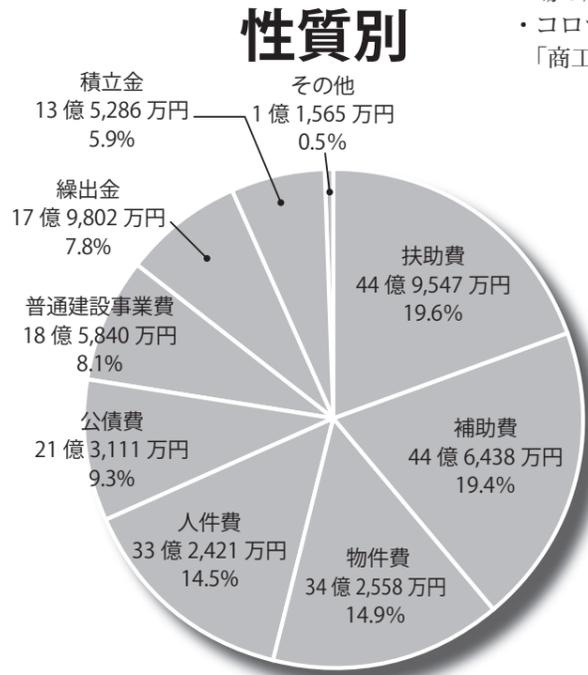
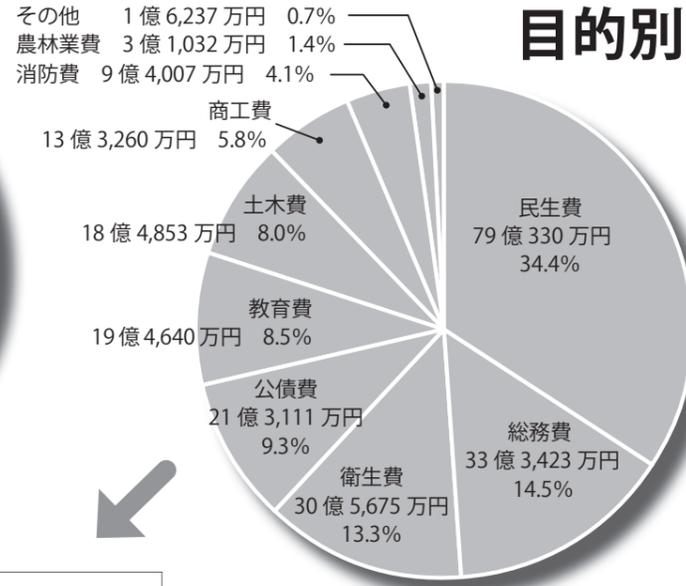
一般会計

市の予算の中心となる会計で、市政運営の基本的な経費を計上しています。

歳出 229億6,568万円

令和4年度は前年度に比べ、約21億7,092万円の減額となりました。

- ・前年度に新ごみ処理施設や新し尿処理場の建設、葦山し尿処理場の解体を実施したため、「衛生費」が21億2千万円強の減
- ・コロナ禍での物価高騰に対応した臨時経済対策の強化により「商工費」が5億4千万円弱の増



目的ごとの主な使い道

※金額は市民一人当たりの換算額

合計 488,154円

民生費 167,991円 子育て支援、高齢者福祉など	総務費 70,872円 戸籍、徴税、選挙など	衛生費 64,974円 保健衛生、ごみ処理など	公債費 45,298円 借入金の返済	教育費 41,372円 小中学校、教育施設、スポーツ振興など
土木費 39,292円 道路や公園の整備など	商工費 28,325円 商工業支援、観光振興など	消防費 19,982円 消防、防災など	農林業費 6,596円 農業・林業の支援、振興など	その他 3,451円 議会費、労働費、災害復旧費など

寄附金の使い道

※目的基金に積み立てた額は、次年度以降、使途の希望に見合った事業の財源とします。

使途の希望	寄附金額	件数	内容
新型コロナウイルス感染症対策	1,150,000円	2件	保育所などの感染症対策の消耗品、備品などの購入
葦山反射炉保全	1,747,197円	2件	葦山反射炉保全基金に積み立て
教育振興	1,000,000円	1件	教育振興基金に積み立て
福祉振興	50,000円	1件	福祉対策基金に積み立て
その他	321,500円	3件	むし歯予防対策事業、森林環境整備促進事業などに活用



特別会計

特定の事業の歳入歳出を処理するために設置される会計

会計区分	歳入	歳出	市民一人当たり歳出 (円)
国民健康保険	55億1,922万円	55億1,441万円	117,213
後期高齢者医療	6億8,543万円	6億8,482万円	14,556
介護保険	45億3,810万円	44億4,074万円	94,391
楠木及び天野揚水場管理	2,708万円	2,538万円	—

公営企業会計

地方公営企業法の適用を受け、利用者からの料金などによって公共の利益を目的に経営する事業会計

会計区分	収入	支出	
水道事業	収益的	7億8,110万円	6億7,888万円
	資本的	4億2,660万円	7億7,602万円
下水道事業	収益的	14億2,677万円	13億4,735万円
	資本的	9億9,157万円	13億6,281万円